

# 平成30年度「入退院支援連携デザインに係る研修会」参加者アンケート

実施主体：一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

実施日：2018年9月22日(土)

場所：八汐荘

対象：研修会参加者(93人)

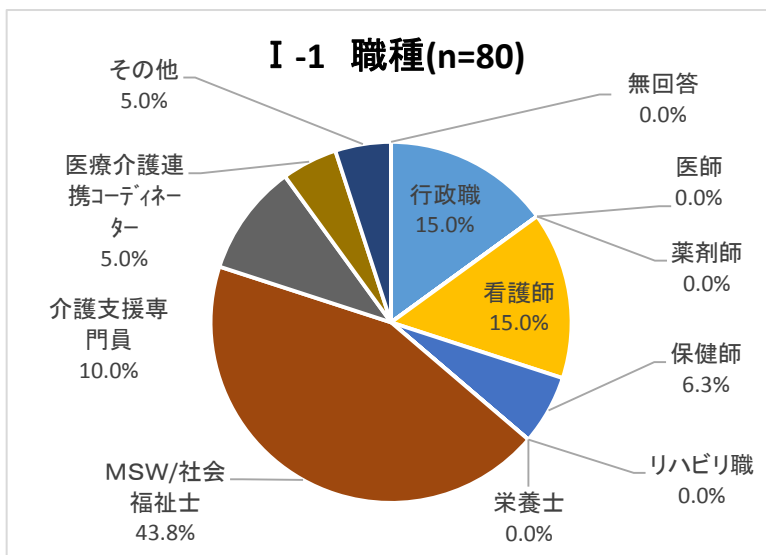
回答者数：80人

## I-1 職種

選択肢	人	%
行政職	12	15.0%
医師	0	0.0%
薬剤師	0	0.0%
看護師	12	15.0%
保健師	5	6.3%
リハビリ職	0	0.0%
栄養士	0	0.0%
MSW/社会福祉士	35	43.8%
介護支援専門員	8	10.0%
医療介護連携コーディネーター	4	5.0%
その他	4	5.0%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%

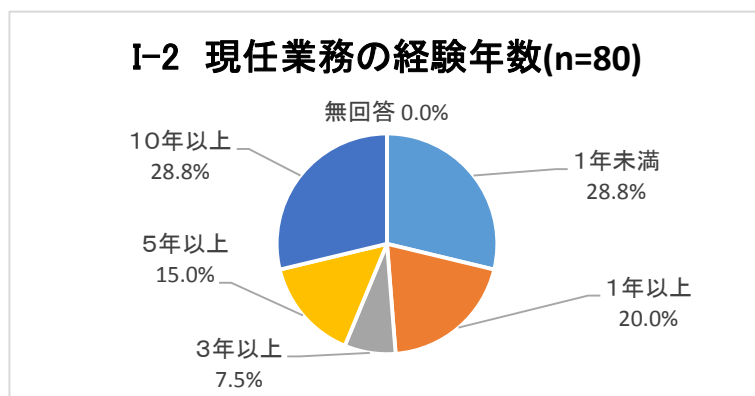
※その他(自由回答:4人)

- ・社会福祉主事
- ・包括支援センター
- ・精神保健福祉士
- ・相談支援専門員



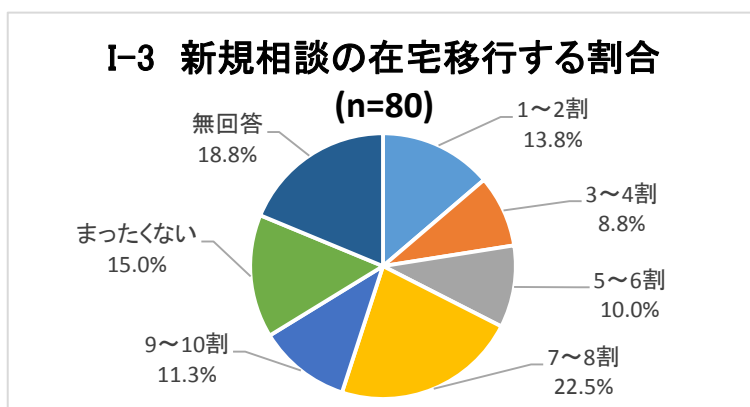
## I-2 現任業務の経験年数

選択肢	人	%
1年未満	23	28.8%
1年以上	16	20.0%
3年以上	6	7.5%
5年以上	12	15.0%
10年以上	23	28.8%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%



## I-3 新規相談の在宅移行する割合

選択肢	人	%
1~2割	11	13.8%
3~4割	7	8.8%
5~6割	8	10.0%
7~8割	18	22.5%
9~10割	9	11.3%
まったくない	12	15.0%
無回答	15	18.8%
合計	80	100.0%



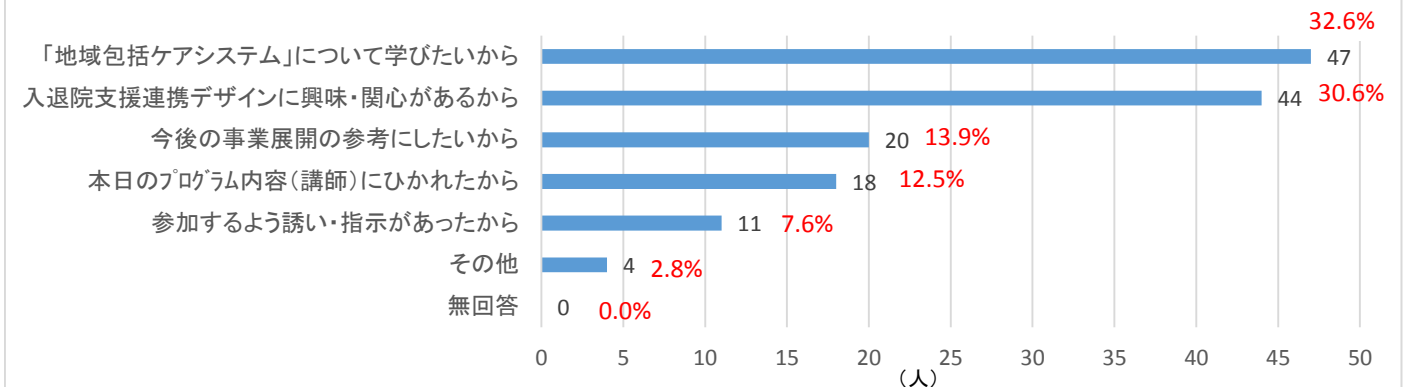
## I-4 参加動機

※複数回答

選択肢	回答数	%
無回答	0	0.0%
その他	4	2.8%
参加するよう誘い・指示があったから	11	7.6%
本日のプログラム内容(講師)にひかれたから	18	12.5%
今後の事業展開の参考にしたいから	20	13.9%
入退院支援連携デザインに興味・関心があるから	44	30.6%
「地域包括ケアシステム」について学びたいから	47	32.6%
合計	144	100.0%

※その他(自由回答:3人)  
・ACPについて(3人)

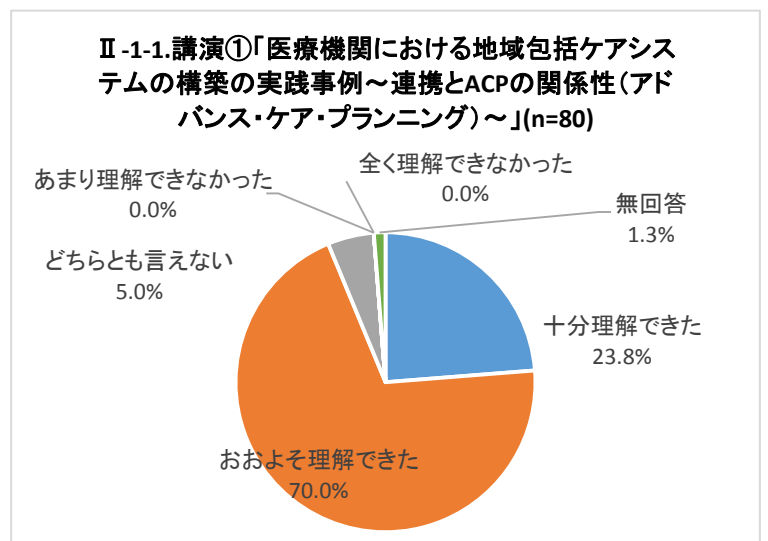
### I-4 参加動機(n=144)



## II 内容についての理解

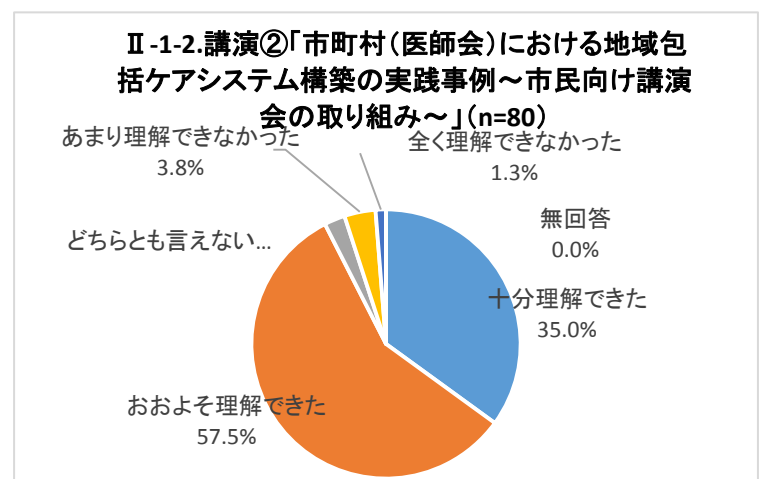
### II-1-1. 講演①「医療機関における地域包括ケアシステムの構築の実践事例～連携とACPの関係性(アドバンス・ケア・プランニング)～」

選択肢	人	%
十分理解できた	19	23.8%
おおよそ理解できた	56	70.0%
どちらとも言えない	4	5.0%
あまり理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%



### II-1-2. 講演②「市町村(医師会)における地域包括ケアシステム構築の実践事例～市民向け講演会の取り組み～」

選択肢	人	%
十分理解できた	28	35.0%
おおよそ理解できた	46	57.5%
どちらとも言えない	2	2.5%
あまり理解できなかった	3	3.8%
全く理解できなかった	1	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%



## II-2 プログラムの内容で特に参考になったことについて(自由回答:22人)

- ・医療に係りのない市民にいかに関与させるか(意思決定について)医療費の削減だけの問題でないことを市民に啓発できれば・・・。
- ・講師の方々の体験を聴き、連携や実践事例を知り、特に地域包括ケアシステムには構築の際に留意する事項が非常に参考になりました。
- ・情報提供のタイミング、医療制度(医療機関の機能)、ACPを伝える段階(元気な方・病気や高齢者・看取りの方)
- ・市民向けの講演会を行う際は必ずわかりやすく笑いをいれること
- ・医療機関とケアマネージャーの連携が大事。病院での取り組み、ルール、入退院に関しての知識
- ・市民に伝えるポイント等楽しく学べました。
- ・点を線へつなぐ、点～支援を終わらせない
- ・厚労省の動向は理解できました
- ・医療サイドの事情が理解できた(報酬形態等)
- ・アドバンスケアプランニングについて急性病院の短い入院期間で難しいところがある。現状がきけてよかった。
- ・ACPにとらわれず、どう生きていきたいか話を聞ける言える人間関係、専門職の姿勢が大事と学んだ
- ・黒木先生の笑いを交えたお話がとても良かったです。
- ・業務上ではほぼ毎月のようにACPについて考える事が多く、しっかりと本人・家族へわかりやすく伝えて考えていけるように対応していきたいと思いました。
- ・看取りの研修内容がスゴイと思った
- ・ACPの理解
- ・医療者として、患者さんとその家族とどのように関わるのか考えさせられました
- ・情報収集の重要性や自己決定について学ぶことができました
- ・ACPは生活支援
- ・勤務先で「人生の最終段階～」規定作成中。何をどのようにすすめる必要があるのか、各専門職で検討中のためACP実践に向けて学べました
- ・何度も話し合うことの大切さ改めて感じました。
- ・ACPの意味、連携がいかに大事か認識できました
- ・情報共有シートやアセスメントツールなどある程度様式の共通化は必要だが、何を伝えたいのか、どんな視点が必要なのか、が大切であることが理解できた。

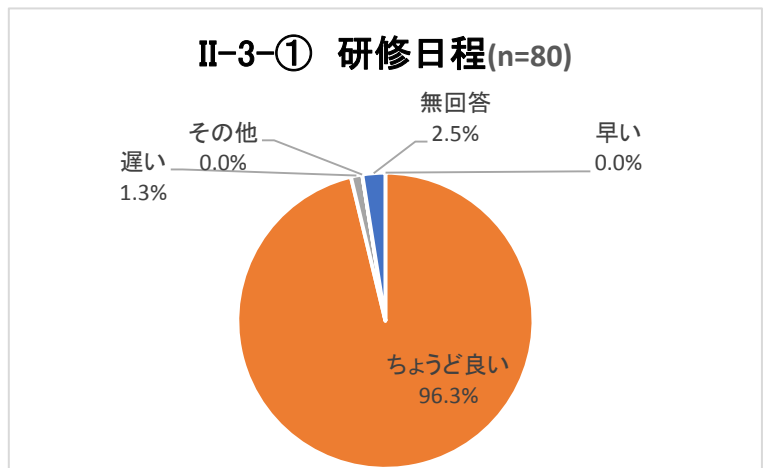
## II-3 研修日程・時間

### ①日程

選択肢	人	%
早い	0	0.0%
ちょうど良い	77	96.3%
遅い	1	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

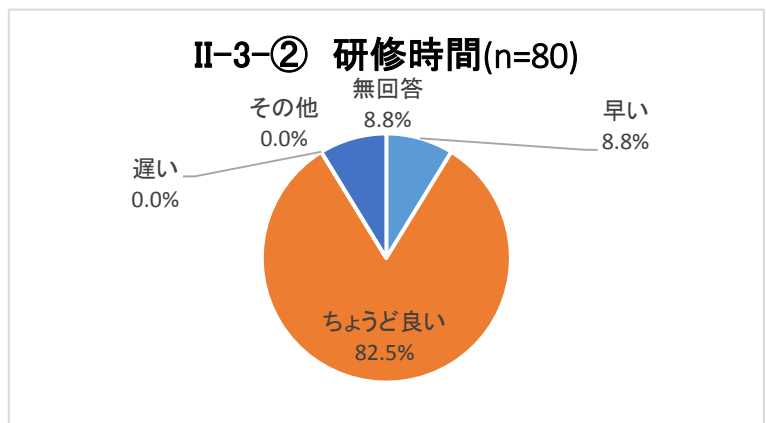
※遅い(自由回答:1人)

・年度目標を計画する時期に上司と聞きたい内容でした。



### ②時間

選択肢	人	%
早い	7	8.8%
ちょうど良い	66	82.5%
遅い	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	7	8.8%
合計	80	100.0%

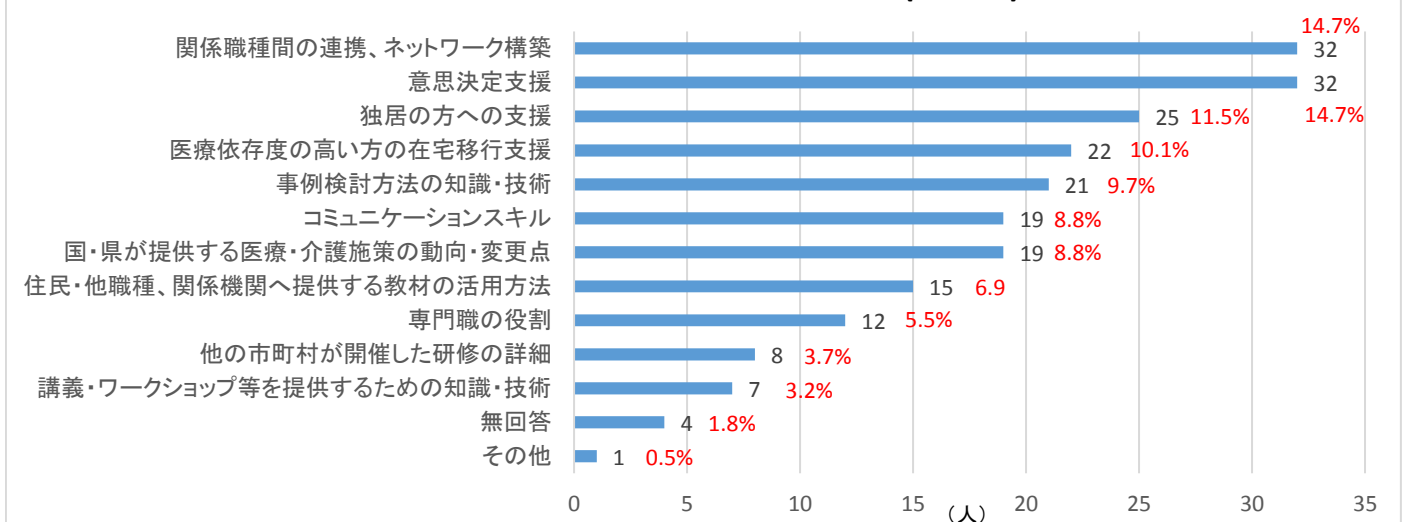


### Ⅲ 今後取り上げてほしいテーマ

※複数回答

選択肢	回答数	%
その他	1	0.5%
無回答	4	1.8%
講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	7	3.2%
他の市町村が開催した研修の詳細	8	3.7%
専門職の役割	12	5.5%
住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	15	6.9%
国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	19	8.8%
コミュニケーションスキル	19	8.8%
事例検討方法の知識・技術	21	9.7%
医療依存度の高い方の在宅移行支援	22	10.1%
独居の方への支援	25	11.5%
意思決定支援	32	14.7%
関係職種間の連携、ネットワーク構築	32	14.7%
合計	217	100%

### Ⅲ 今後取り上げてほしいテーマ(n=217)



### Ⅳ その他、全体を通しての感想・意見(自由回答:20人)

- ・各々の職種が各々で完結していると感じる。個人情報保護の在り方を日本はもう少し考えるべきでは・・・。
- ・講師の方々のお話から現状を認識した上での行動の重要性を感じました。
- ・関係機関もそうですが、住民の方にもACPIについても一緒に考えられる場の検討や既存の集まりで啓発できるかも含めて検討していきたいと思います。
- ・難しい内容・暗いテーマをいかに理解しやすく一般の方に伝える努力が必要か、その方法、また可システムを仕事としてではなく自分のこととして捉える
- ・講師のわかりやすい説明で良かったです。岡村さんの説明は特にわかりやすかった。黒木さんはユーモアがあって楽しく参加できた。ありがとうございました。
- ・早めに席の誘導をお願いします。
- ・この研修に各自治体の参加が少ないように思います。県の自治体への周知指導がないとなかなか進まないのでは。又、病院のワーカーも地域の病院でまだ参加のないところも参加してほしい。規範的統合。同じ方向へ向かって。
- ・せっかくの研修会なので、県内の取り組みについて話していただきたい
- ・現場の取り組みが聞けて良かった
- ・ありがとうございました
- ・最後のディスカッションの所で事前にフロアから質問カードを取っておくとよかったですと思います。沖縄の人ははじかさ一だから。
- ・情報共有の必要性を改めて考えさせられました。業務の中で、退院後の患者の状況をケアマネや施設へ声掛けし、対応できるようにしていきたいです。
- ・楽しいお話や実践している事等具体的なお話が聞けて学びの多い講演会でした。ありがとうございました。

- ・声も聞き取りやすく良かったです。
- ・医療を取り戻し環境等とてもわかりやすかったです
- ・ほかの研修のときも感じたのですが八汐荘は駐車場が少なく車をとめにくいこととほかの会場に決定していただいたほうがよかったと思います
- ・大変勉強になりました
- ・楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・おつかれさまでした！
- ・笑いを交えての講話がとてもわかりやすく伝わりました。

